

## 中国オルドス高原の乾燥地域

中国中北部で黄河の流れが北、東、南と大きく向きを変えるところに位置するオルドスは、標高がおおよそ1,200mの高原である。内蒙古自治区、寧夏回族自治区及び陝西省の3省区にまたがり、面積は北海道よりも少し広い。オルドス高原の中央部にはモウス砂漠、北部にはホブチ砂漠が広がり、また、南東部には厚い黄土が分布している。ここでも多様な砂漠化現象が起こりつつあり、砂層の流動砂丘化、表土の流出、低地の潜水・湿地化、地表部への塩類集積が問題となっている。〈地質調査所 環境地質部 石井 武政・田口雄作〉



1. オルドス高原の広がり、年間降水量はオルドス高原東部では300～400mm、西部では100～200mm程度である。西に向かって降水量が少なくなるとともに植生はステップ状となり、地平線が広がる。



2. 駝駝草、中国の砂漠乾燥地域に典型的に見られる植物で、こんもりしているのは駝駝草の根が砂の移動をくい止めているためである。



3. オルドス高原東部に分布するジュラ紀層、赤褐色を呈する砂岩泥岩互層で、クロスラミナが顕著である。



4. 乾燥地域の湧水, 榆陽泉の遠景, 陕西省北部の主要都市, 榆林市近郊にあり, ジュラ紀の砂岩の割れ目から水質のよい水が湧いている(写真中央の建物群の裏), この湧水は水道水源として利用されている。



5. 浅層自由地下水の利用, 砂漠地域の問題は水問題でもあるが, 場所によっては浅い地下水が得られる。



6. 高塩分濃度の湖周囲に広がる塩類, オルドス高原の西半部には外部に出口をもたない内陸河川地域(閉流区)があり, この地域では海水よりも濃い塩分を含む湖が数多く存在する。



7. 統万城(左), 西夏王墳墓(中), 万里長城(右), オルドス高原には歴史を刻む文物が沢山ある, 日本の遺跡は土に覆われるが, 中国乾燥地域のそれは風に運び去られる。